



中西便り

発行者： 校長 小林 茂雄

中川西中 Tel 045-912-1270

<学校教育理念>

自主と貢献 健康と思いやり 対話と融和

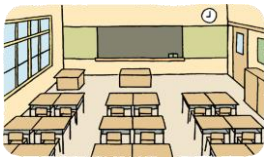
<<学校教育目標>>

～自分に適した生きる力を実現する子供を育てます。～

- より良い生き方を創るため、自ら学ぶ力を育てる（知）
- 豊かなかかわりを通して互いに認め合う心を育てる（徳）
- 自他の生命を大切にさせるとともに健やかな体を育てる（体）
- 社会の一員として貢献できる態度を育てる（公）
- 様々な人々とのコミュニケーションを通じて世界への視野を育てる（開）

今、一人ひとりができることを

校長 小林 茂雄



たいへんな状況が続いています。新型コロナウイルス感染症の影響で4月はたった1日（1年生は2日）の登校しかできず、学校生活が過ぎてしまいました。学校として生徒や保護者のためにできることを模索してきました。しかし感染症の蔓延拡大を阻止するには人と会わないことが条件であるため、集団となる学校生活が行えません。生徒や保護者の皆様の不安や心配に十分お答えできていないことに遺憾の思いでいっぱいです。

コロナウイルスの影響で日本国内でも多くの方が亡くなられ、身近な芸能人も複数、犠牲になりました。改めてお悔やみ申し上げたいと思います。また、感染症の最前線で働かれている多くの医療関係の方々の努力に感謝と敬意を表したいと思います。

毎日のように報道されている記事やニュースを見ていて、最近読んだ本の言葉から感じたことをお伝えしたいと思います。（内容的にちょっとこじつけている部分もありますが、本の題名は『ぼくはイエローで、ホワイトで、ちょっとブルー』ブレディみかこ著（新潮社）です。）

亡くなった方々のご家族や、医療に従事している人たちの思いに共感して「気の毒だった」「大変だなあ」と思うことは大切です。しかし一歩進んで、そういう方々に感情で同情するだけでなく、その方々の思いを自分事に置き換えて、今、何を自分がすべきかを考えられる能力と行動力を身につけてほしいということです。つまり Sympathy（同情）だけでなく Empathy（共感）して行動することです。その著書では「他人の靴を履いてみる」と表現しています。

身内や周りの人たちを悲しませる死から自分たちを守るためにすべきことは何か？

感染症と闘っている医療関係の方々の負担が少しでもなくなるためにすべき行動は何か？
様々な立場で悲しみ、苦しんでいる人たちの気持ちを自分事に捉えて、今自分がすべきことを考えて行動していきましょう。

国からの非常事態宣言の延長が発表され、学校再開も延期されました。今まで1か月（年度末を含めると2か月）不自由で我慢をしてきたと思いますが、コロナウイルスでの犠牲者をなくするため、医療機関で働く方々の負担を減らすため、そして一人ひとりの命と生活を守るためにもうしばらくご家庭で課題に取り組みながら頑張ってください。よろしく願いいたします。

生徒の皆さんへ



学校生活ができず、家庭での生活にもさぞかし飽きと疲れが出ていることと思います。勉強や部活など様々なことに対する不安や疑問があるでしょう。しかし、今は我慢の時です。そして今だからできることを意識して取り組んでください。生活リズムは正しく行われていますか？（自立）家でのお手伝いはできていますか？（貢献）うがい手洗いはしっかりできていますか？（健康）勉強は与えられた課題だけでなく基本的な計算や漢字、英単語など復習とできれば予習に取り組めることを期待しています。他に



にも残りの3つの理念（思いやり）（対話）（融和）を意識して過ごしてください。また、外に出て身体を動かしたいと思っていることでしょう。公園や近所をジョギングなどすることは人の込み具合を避けてマスクやそれに代わるものを着用し、時間を考えて行いましょう。しかし友達と集まって何かをすることは避けてください。

保護者の方々へ

ストレスを抱えているお子様と過ごす時間が多いと思います。私事ですが、私の息子も今年高校に入学しましたが、まだ2日間しか高校生活を送っていません。出された課題も中々計画通りとはなっていないのが現実です。親が言っても素直に従えないのがこの時期の特徴です。しかし、子供は子供で授業や勉強について気にはしています。思いと行動が一致しないのが難しいところです。ご心労はお察しいたしますが、是非子供の声に耳を傾けて、どうしたら良い方向へ向かうことができるか一緒に考えていただけると幸いです。よろしく願いいたします。

最後に

先日、各ご家庭に担任より生徒一人ひとりの様子や気持ちを聞かさせていただくために電話連絡をさせていただきました。ご理解とご協力ありがとうございました。その中で今後の行事等についての質問がありました。新型コロナウイルス感染症の影響で、現在9月新学期の構想も出ている状況です。文科省においても行事の見直しを図るよう各委員会に通達がありました。授業が3か月間行われなかった部分の確保が最優先されることになると思います。現状では5月から7月までの予定を次のように考えています。学校再開後、決定できるところからお知らせします。なお、決定後も緊急事態宣言の状況や様々な社会情勢によってはさらに変更の場合があります。

1学期にかかわる行事について

体育祭 中止の方向で考えています。学校が再開された場合においても、授業時間の確保を優先すると体育祭のための練習する時間や日程を作ることがかなり厳しいと思われます。

1年生 自然教室 自然教室としては行わない方向です。2学期以降も宿泊所等の確保ができませんでした。今後夏休み以降、遠足という形で行えないかを検討したいと思います。

2年生 職場体験 中止の方向で考えています。12月に日程を変更して実施を検討しましたが、学校再開ができたとしても、事業所の受け入れが大変厳しいと思われます。

3年生 修学旅行 9月21日～23日で旅行会社と日程変更いたしました。修学旅行説明会は6月末に行う予定です。但し感染症の状況が改善されないと中止となることもあります。

第1回定期テスト・成績 現在夏季休業の状況がわかりません。情勢を見て決定いたします。

部活動 報道でご存じのとおり全国中学校体育大会は中止になりました。それを受けて各都道府県及び横浜市の中体連が各地域の方向性を出すと思います。

連絡があり次第、お知らせいたします。

2学期以降の他の行事についても未定です。文科省並びに教育委員会の方向性が出てから、検討となります。引き続きご理解とご協力、よろしく願いいたします。

令和2年度 第31回入学式



4月6日の午後、穏やかな春の日差しと花びらの舞う桜の中、299名の新入生を無事迎え、第31回入学式を執り行いました。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます！

新型コロナウイルス蔓延の影響で今年の新入生は小学校の卒業式に引き続き、来賓・保護者の列席がない式となりました。

式自体も時間を短縮して執り行い、学校長式辞、PTA 会長のお祝いの言葉、新入生代表の言葉のみで、最後に1学年に関わる先生方の紹介を行いました。しかし式の雰囲気は新入生の真剣な眼差しと緊張感に溢れ、代表の小野海太さんの力強い決意の言葉も素晴らしいものでした。



保護者の皆様には席の参列のご遠慮にご協力いただきましたこと、心より感謝いたします。おかげで無事にかつ円滑に式を執り行うことができました。本当にありがとうございます。

今は新型コロナウイルスの影響で臨時休業となり、中学校生活実感できていないかと思えます。しかし授業再開の折には新入生の皆さんが早く中学校生活に慣れて充実した活動ができるよう頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

着任式・始業式

4月7日には学年ごとに登校の時間をずらして着任式と始業式を行いました。1年生にとってはどの先生も初めてなので着任式は行いませんでした。このよう
の情勢の中なので、放送による着任式・始業式でした。今年新たに着任された先生方は全部で14名。一人ひとり着任の挨拶を行い、最後に生徒会長古山悠斗さんが歓迎の言葉を着任された先生方に贈りました。中川西中学校に新たな風を取り入れて活躍してくれることと思
います。

始業式では本校の教育理念を元に4月中の臨時休校中の家庭での取り組みについて話をさせていただきました。概要は学校だより第1号の巻頭に載せています。今は新型コロナウイルス蔓延防止が日本に住む人、全世界に住む人にとって第1番の課題です。窮屈な生活だと思いますが、お互い頑張りましょう。



今年も綺麗にしてくださいました。

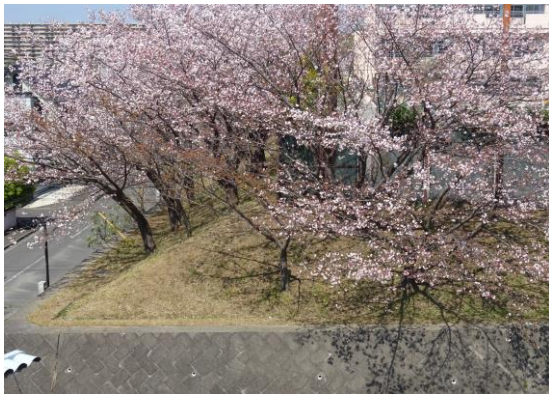
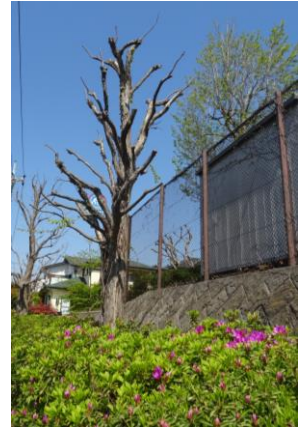
昨年度、正門からテニスコートや中庭、そして裏門にかけ校内の木々を剪定してくださいました本校の元 PTA の神之菌さんが、今年も西側の斜面を綺麗に手入れしてくださいました。



作業前、作業後の状況をお見せできなかったのに加えて、ひと月以上も時間がたったしまったのでわかりにくいかもかもしれませんが、とてもすっきりした斜面になりました。

(これらは今回もすべてご厚意で!)

今年も生徒の皆さんが気持ちよく過ごせる学校環境のために整備してくださいました。保護者の皆様も学校再開後に何かの様でお立ち寄りの際は、是非ご覧ください。



神之菌さん、本当にありがとうございます。

